

# 詳しい履歴・業績

2011年6月20日現在

1. 氏名 津田<sup>つだ</sup>みわ
2. 勤務先 独立行政法人 日本貿易振興機構 アジア経済研究所
3. 役職 地域研究センター 主任研究員  
アフリカ研究グループ長代理
4. 専門分野 アフリカ政治／ケニア地域研究
5. 学歴・職歴

1989年	3	31	慶應義塾大学大学院法学研究科（政治学専攻）修士課程修了（法学修士）
	4	1	アジア経済研究所入所
1990年	4	27	総合研究部アフリカ・プロジェクト・チーム兼務
1992年	4	1	地域研究部（アフリカ）勤務、『アフリカレポート』編集委員
1994年	9	25	在ケニア海外派遣員、ナイロビ大学開発研究所客員研究員
1996年	10	25	地域研究部（アフリカ）勤務、『アフリカレポート』編集委員
2003年	10	1	独立行政法人日本貿易振興機構 新領域研究センター 国際関係・紛争研究グループ勤務
2006年	4	1	同センター国際関係・紛争研究グループ長代理
2008年	7	1	同センター主任研究員
2011年	4	1	地域研究センター主任研究員、アフリカ研究グループ長代理（現在に至る）

非常勤

2007年	4	1	国立大学法人東京医科歯科大学教養部 講師採用 任期2008年3月31日まで
2008年	4	1	神田外語大学 講師採用 任期2012年3月31日まで
6. 所属学会

1989年～現在	日本アフリカ学会
2005年～ 2008年3月31日	日本アフリカ学会学会誌『アフリカ研究』編集委員
2008年4月1日～現在	日本アフリカ学会評議員
2010年4月～現在	日本国際政治学会
7. 社会における活動
  - (1) 口頭報告

1989年	5	21	「植民地ケニアの独立運動——1960年前後の時期を中心に」日本国際政治学会アフリカ分科会、1989年5月21日
1993年	5	30	「多民族国家ケニアにおける複数政党制」第30回日本アフリカ学会学術大会、於 弘前大学理学部、1993年5月30日。

- 1996年 9 19 “Ethnicity and the 1992 Multi-Party Elections: The Case of Kikuyu Constituency, Kiambu District” Institute of Development Studies, University of Nairobi, held at IDS Board Room, 19 September 1996.
- 1998年 7 4 「パネルディスカッション：現代アフリカの紛争をめぐって」（武内進一、真島一郎、佐藤章、津田みわ）日本アフリカ学会関東地区 1998 年度第 1 回例会、於 慶應義塾大学地域研究センター、1998 年 7 月 4 日。
- 2000年 5 28 「複数政党制移行後のケニアにおける住民襲撃事件」第 37 回日本アフリカ学会学術大会、於 広島市立大学国際学部、2000 年 5 月 28 日。
- 2000年 5 27 「分科会「車に轆かれた犬」再考」（モリ・トラオレ・原口武彦・真島一郎・津田みわ・渡辺公三）第 37 回日本アフリカ学会学術大会、於 広島市立大学国際学部、2000 年 5 月 27 日。
- 2001年 5 27 「ケニアの複数政党制化と農村社会：セントラル州キアンブ県カベテ選挙区の事例から」第 38 回日本アフリカ学会学術大会、於 名古屋大学大学院文学研究科、2001 年 5 月 27 日。
- 2004年 5 29 「つくられる「よそ者」——ケニア・コースト州リニコニ事件から」第 41 回日本アフリカ学会学術大会、於 中部大学、2004 年 5 月 29 日。
- 2005年 5 29 「分科会 女性フォーラム「HIV/エイズと女性」（若杉なおみ・牧野久美子・島田周平・津田みわ）」第 42 回日本アフリカ学会学術大会、於 東京外国語大学、2005 年 5 月 29 日。
- 2005年 5 29 「「民主化」とアフリカ諸国——離党規制とケニアの複数政党制」第 42 回日本アフリカ学会学術大会、於 東京外国語大学、2005 年 5 月 29 日。
- 2010年 5 30 「アフリカにおける政党の動態と変容② ケニアにおける国民虹の連合（NARC）という経験」第 47 回日本アフリカ学会学術大会、於 奈良県文化会館
- 2010年 10 30 「アフリカ分科会『紛争と民主化』：ケニアにおける『2007 年選挙後暴力』」日本国際政治学会 2010 年学術大会、於 札幌コンベンションセンター

## (2) 講演

- 1992年 7 28 「ケニア：複数政党制への移行」アジア経済研究所夏期公開講座、於アジア経済研究所、1992 年 7 月 28 日
- 1993年 7 29 「多部族国家ケニアにおける複数政党制」アジア経済研究所夏期公開講座、於アジア経済研究所、1993 年 7 月 29 日
- 1995年 2 16 ナイロビ商工会 講師（1995 年 2 月 16 日、演題「ケニアにおける身分証明・自己証明」於ジェットロ・ナイロビ会議室）
- 1995年 7 14 国際協力事業団ケニア事務所 講師（1995 年 7 月 14 日。演題「植民地期以降のケニア政治史」於ジャイカ・ケニア事務所）
- 1997年 10 24 「90 年代ケニアの政治改革」日本貿易振興会アフリカ政治研究会、於日本貿易振興会、1997 年 10 月 24 日。
- 1997年 7 3 「総選挙に向かうケニア」アジア経済研究所夏期公開講座、於アジア経済研究所、1997 年 7 月 3 日

1998年～ 随時	4	14	「JICA 専門家派遣前研修赴任国概要（ケニア）講義」国際協力事業団、於 JICA 国際協力総合研修所、1998年4月14日、1998年8月3日、1999年1月21日、1999年9月9日、2000年4月28日、2000年6月2日、2000年7月14日、2000年7月26日、2001年2月9日、2001年3月15日、2001年4月10日、2001年6月7日、2001年7月19日、2002年1月18日、2002年3月5日、2002年6月5日、2002年7月18日、2002年9月10日、2004年2月27日、2004年12月17日、2005年2月14日、2005年6月10日、2005年7月15日、2005年9月9日。
1998年	6	30	「ケニア——頻発する住民襲撃事件をどうみるか」アジア経済研究所夏期公開講座、於アジア経済研究所、1998年6月30日
1999年	7	13	「現代ケニアの住民襲撃事件——その政治性」アジア経済研究所夏期公開講座、於アジア経済研究所、1999年7月13日
2001年	2	16	「アフリカ東部諸国」日本放送協会「NHK 教育テレビ世界くらしの旅」2001年2月16日放映
2001年	7	24	財団法人国際労働財団（JILAF） 講師 「ケニア事情」 2001年7月24日
2001年	7	18	「2002年大統領選挙に向かうケニア——連立政権の発足と日本の援助」アジア経済研究所夏期公開講座、於中央大学市ヶ谷キャンパス、2001年7月18日
2001年	12	14	「アフリカ東部諸国～経済と民主化の課題」日本放送協会「NHK 教育テレビ世界くらしの旅」2001年12月14日放映
2001年	2	16	「アフリカ東部諸国」日本放送協会「NHK 教育テレビ世界くらしの旅」2001年2月16日放映
2002年	12	20	「アフリカ東部諸国」日本放送協会「NHK 教育テレビ世界くらしの旅」2002年12月20日放映
2003年	5	15	東京大学大学院国際協力・公共政策ジョイント・セミナー（2003年5月15日。演題「つくられる「よそ者」——ケニア・コースト州における複数政党制選挙と先住性の政治化」
2003年	7	17	「ケニア総選挙における政権交代の意義」アジア経済研究所夏期公開講座、於中央大学市ヶ谷キャンパス、2003年7月17日
2003年	10	24	国際協力事業団ケニア事務所主催 有識者講演会 講師（2003年10月24日。於ジャイカ・ケニア事務所 演題「NARC 政権で何が起きているのか——市民の声をまじえて」）
2003年	12	24	「東アフリカ：〈民主化〉は何をもたらしたのか」日本放送協会「NHK 教育テレビ世界くらしの旅」2003年12月24日放映
2004年	9	21	ナイロビ商工会 講師（2004年9月21日。演題「二年目の NARC 政権：挙国一致政府の現実と回避に向かう社会対立」於 JETRO・ナイロビ事務所会議室）
2005年	7	5	「【特集ワールド】焦点のアフリカ 2 貧困の実情と国際支援」『きょうの世界』NHKBS-1 23:00— 生放送 スタジオ出演、2005年7月5日
2005年	11	16	「東アフリカ：『民主化』は何をもたらしたのか」日本放送協会「NHK 教育テレビ高校講座：地理」2005年11月16日放映
2006年	7	15	「ケニア植民地解放闘争と補償問題——元「マウマウ」闘士によるイギリス提訴」、於東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、永原陽子主査「『植民地責任』論からみる脱植民地化の比較歴史学的研究」プロジェクト研究会、2006年7月15日。
2006年	9	7	「ケニアースラムってどんなところ？」於 アジア経済研究所図書館、2006年度途上国理解市民フォーラム、2006年9月7日。
2006年	11	22	「東アフリカ：『民主化』は何をもたらしたのか」日本放送協会「NHK 教育テレビ高校講座：地理」2006年11月22日放映

2007年	12	6	JICA ケニア事務所主催講演会 講師 (2007年12月6日。於 JICA ケニア事務所 演題「2007年総選挙に向かうケニア——大統領選挙を中心に」)
2007年	12	6	ケニア商工会 講師 (2007年12月6日。演題「2007年総選挙に向かうケニア——大統領選挙を中心に」於) JETRO・ナイロビ事務所会議室)
2008年	1	11	「混迷ケニア 民族の亀裂の行方」『きょうの世界』NHKBS-1 22:00 -23:30 生放送 スタジオ出演、2008年1月11日
2008年	4	15	アフリカ・連続フォーラム 講師 (2008年4月15日。演題「ケニア情勢をどうみるか」於) JETRO 本館 5D 会議室)
2008年	7	25	「ケニア政治情勢にかかる勉強会」 講師 (2008年7月25日。演題「ケニア総選挙後の危機とその後」於) JICA 本部 10階 10D 会議室)
2010年	8	4	NHK ラジオ日本「アングル：ケニアにおける新憲法案への国民投票（解説）」電話録音。17カ国語でのボイス・オーバーによる国際ラジオ放送
2010年	8	6	NHK ラジオ日本「ニュース：ケニアにおける新憲法への国民投票の結果と展望および日本への影響（解説）」電話録音。17カ国語でのボイス・オーバーによる国際ラジオ放送
2011年	2	25	千葉市民文化大学 冬期集中講座 国際文化学科「アフリカの政治と社会」講師 (2011年2月25日、3月4日、3月11日)
2011年	6	17	品川区民大学教養講座【アフリカー決して遠くない世界のお話しー】「現代ケニアをみつめてー民族・紛争・民主化ー」

### (3) 教育活動 (大学非常勤を除く)

1999年	6	15	「第三世界の紛争問題」、専修大学経済学部「社会教養特別講座」
2001年	11	16	「アフリカでみる日本の援助」、山梨学院大学法学部政治行政学科「国際政治特講1」
2001年	11	27	「アフリカにおける国会形成と経済開発——ケニア：大統領選挙と日本の援助」、専修大学国際経済学部特別講義「国際経済と地域」
2001年	12	4	「現代アフリカの紛争を考える——それは部族対立なのか?」、専修大学国際経済学部特別講義「国際経済と地域」
2003年	11	25	「民主化と現代アフリカを考える」、専修大学国際経済学部特別講義「国際経済と地域」
2003年	12	19	「アフリカからみた日本の経済協力」、山梨学院大学法学部政治行政学科「国際政治特講1」
2005年	1	21	「途上国の政治発展と「人間の安全保障」～アフリカ：ケニアの民主化から考える」、山梨学院大学法学部「安全保障研究」
2005年	5	12	「現代アフリカの紛争を考える(第2回)それは「部族対立」なのか?——ケニアの事例から」、アジア経済研究所開発スクール(IDEAS)「地域研究：アフリカ」

### (4) 他機関研究会委員など

1997年度	日本貿易振興会 アフリカ政治研究会委員
1998～2003年度	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究プロジェクト「独立後アフリカ諸国における国家と宗教(代表者 小川了)」共同研究員

2000 年度	社団法人海外運輸協力協会 平成 11 年度援助方針策定調査(ケニア、タンザニア、ガーナ)ワーキンググループメンバー
2000～03 年度	国立民俗学博物館地期研究企画交流センター共同研究(アフリカ女性史に関する基礎的研究)共同研究員
2001～05 年度	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究プロジェクト「間大西洋アフリカ系諸社会における 20 世紀<個体形成>の比較研究会(代表者 真島一郎)」共同研究員
2002～03 年	外務省主催 「アフリカンフェスタ2003」プログラム委員会 委員
2002～03 年度	日本国際問題研究所「アフリカにおける議会と行政府研究会」委員
2002～03 年度	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究プロジェクト「アフリカ・アジアにおける政治文化の動態(代表者 小川了)」共同研究員
2003～04 年度	文部科学省科学研究費補助金(研究代表者筑波大学佐藤俊教授)研究分担者(2003～04年)、研究協力者
2007～10 年度	文部科学省科学研究費補助金(研究代表者東京外国語大学永原陽子)研究分担者(2008年度～連携研究者)
2007～09 年度	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究プロジェクト「植民地責任(代表者永原陽子)」共同研究員

## 8. 業績一覧 (発表年が新しいものから順に並んでいます)

区分	査読あり	発表年	その他書誌情報
6.事典項目執筆		2011 年	「ケニア」『ブリタニカ国際年鑑 2011』ブリタニカ・ジャパン株式会社、pp.434-435.
2論文		2011 年	「あるカレンジン人の男、モイ——ケニア共和国第二代大統領」真島一郎編著『二〇世紀<アフリカ>の個体形成 南北アメリカ・カリブ・アフリカからの問い』平凡社、pp.469-493.
2論文	有	2010 年	「国民虹の連合(NARC)という経験:ケニア第2代大統領モイの引退と政党機能の変容」佐藤章編『新興民主主義国における政党の動態と変容』アジア経済研究所、pp.63-100.
4小論	有	2010 年	‘Kenya’s 2007 Election Crisis,’ IDE Discussion Paper Series, No.243, p.14.
4小論		2010 年	「ケニアにおける憲法改正問題と「選挙後暴力」—2008 年以後の動きを中心に」佐藤章編『アフリカ・中東における紛争と国家形成』、アジア経済研究所、pp.67-87.
4小論	有	2010 年	「「選挙後暴力」後のケニア:暫定憲法の枠組みと課題」『アフリカレポート』第 50 号、2010 年 3 月号、pp.10-15.
4小論	有	2010 年	“The Experience of the National Rainbow Coalition (NARC): Political Parties in Kenya from 1991 to 2007” IDE Discussion Paper Series No.222, p.18.
5書評		2010 年	「南部アフリカ社会の百年」『アフリカレポート』第 50 号、2010 年 3 月号、p.58.
11.対談記録		2010 年	「(アジア経済研究所創立 50 周年記念特集)アジ研におけるアフリカ研究創成期」『アジア経済』Vol.51 No.7(2010 年 7 月 15 日発行)、pp.55-85.、監修者:武内進一、津田みわ、福西隆弘。
2論文		2009 年	「復権と「補償金ビジネス」のはざままで——ケニアの元「マウマウ」闘士による対英補償請求提訴」永原陽子編『植民地責任』論:脱植民地化の比較史』青木書店、pp.189-217。(2010 年「光る風」)

歴史図書賞受賞)

- 2論文 2009年 「暴力化した『キクユ嫌い』——ケニア 2007 年総選挙後の混乱と複数政党制政治」『地域研究』9(1)、pp.90-107。
- 4小論 有 2009年 「ケニアの元『マウマウ』メンバーによる対英補償請求訴訟」『アフリカレポート』第 48 号、2009 年 3 月号、pp.31-34。
- 5書評 2009年 「スワヒリ都市の盛衰(世界史リブレット 103)」『アフリカレポート』第 48 号、2009 年 3 月号、p.53。
- 3.研究資料 2008年 「ケニアの政治変動と政党研究のために(資料)」佐藤章編『政治変動下の発展途上国の政党——地域横断的研究』アジア経済研究所、pp.233-276。
- 4小論 有 2008年 「2007 年ケニア総選挙後の危機」『アフリカレポート』第 47 号、2008 年 9 月号、pp.3-8。
- 4小論 2008年 「選挙と紛争:二〇〇七年ケニア総選挙後の混乱から」『アジア研ワールド・トレンド』第 158 号、2008 年 11 月号、pp.23-24。
- 5書評 2008年 「池谷・武内・佐藤編 朝倉世界地理講座 12—大地と人間の物語 アフリカⅡ」『アフリカレポート』第 47 号、2008 年 9 月号、p.47。
- 5書評 2008年 「竹村景子 スワヒリ語のしくみ」『アフリカレポート』第 46 号、2008 年 3 月号、p.43。
- 2論文 2007年 「ケニアの複数政党制:その軌跡と機能変化する法制度」佐藤俊編『東アフリカ遊牧圏における生活安全網と地域連環の総合的研究(研究課題番号 15251010)平成 15 年度～平成 18 年度科学研究費補助金(基盤研究:A(1)研究成果報告書』筑波大学人文社会科学部研究科、pp.137-175。
- 2論文 有 2007年 「個人名の『裏書きされた』新憲法草案——ケニアにおける憲法見直しプロセスの頓挫と権力抗争——」佐藤章編『統治者と国家:アフリカの個人支配再考』アジア経済研究所、pp.85-126。
- 3.研究資料 有 2007年 「キバキ政権誕生後のケニア憲法見直し問題:2004 年新憲法案の国民投票否決を中心に」『アジア経済』第 47 巻第 4 号、アジア経済研究所、pp.41-73。
- 4小論 2007年 「Ⅱ-3 ケニア植民地解放闘争と補償問題—元『マウマウ』闘士によるイギリス提訴」永原陽子編『「植民地責任」論からみる脱植民地化の比較歴史学的研究(課題番号 16320202):2004-2006 年度科学研究費補助金(基盤 B)研究成果報告書』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、pp.157-169。
- 4小論 2007年 「アフリカの大統領選挙:変化の兆し」『機関誌アフリカ』第 47 号第6巻、2007 年 11 月号、pp.14-17。
- 4小論 有 2007年 「ケニアの政党再編と第 10 回総選挙」『アフリカレポート』第 45 号、2007 年 9 月号、pp.25-30。
- 5書評 2007年 「石井洋子 開発フロンティアの民族誌:東アフリカ・灌漑計画のなかに生きる人びと」『アフリカレポート』第 45 号、2007 年 9 月号、p.54。
- 5書評 2007年 「藤原章生 絵はがきにされた少年」『アフリカレポート』第 44 号、2007 年 3 月号、p.48。
- 8.エッセイ 2007年 「ワンガリ・マータイ:1940- ケニア」『NEWTRAL』白夜書房、p.24
- 2論文 2006年 「ケニア新憲法制定問題とキバキ政権:激化する権力抗争が生み出したもの」佐藤章編『アフリカの「個人支配」再考——共同研究会中間報告——』アジア経済研究所、pp141-179。
- 4小論 有 2006年 「ケニア新憲法案の否決——国民投票の実施と「抵抗勢力」の敗北」『アフリカレポート』第 42 号、

2006年3月号、pp.46-51

- |          |       |   |
|----------|-------|---|
| 5.書評     | 2006年 | 「宮城裕見子 旅の指さし会話帳 60 ケニア」『アフリカレポート』第43号、2006年9月号、p.51   |
| 7.教科書類   | 2006年 | 「東アフリカ～「民主化」は何をもたらしたのか」『2006年度NHK高校講座:地理』日本放送出版協会、p.51  |
| 7.教科書類   | 2006年 | 「民族～身近で、実はあいまいなもの」『アジア経済研究所ウェブサイト、政治分類テーマ別ページ』アジア経済研究所、 <a href="http://www.ide.go.jp/Japanese/Research/Theme/Pol/Eth/">http://www.ide.go.jp/Japanese/Research/Theme/Pol/Eth/</a> |
| 8.エッセイ   | 2006年 | 『「アフリカ大好き」は卒業(世界のくらしに会う12)』『2006年度NHK高校講座:地理』日本放送出版協会、p.52  |
| 9.講演記録   | 2006年 | 「平成18年度第2回研究会【報告の要旨】ケニア植民地解放闘争と補償問題—元『マウマウ』闘士によるイギリス提訴」『通信』第118号、2006年11月、pp.60-62。   |
| 13.その他執筆 | 2006年 | 「(アジア研出版物紹介)特集「民主化」とアフリカ諸国 所収論文執筆者:遠藤貢・津田みわ・落合雄彦・佐藤章、『アジア経済』Vol.46, No.11-12, アジア経済研究所、2005年、pp.2-125」『アフリカレポート』第42号、p.56   |
| 2.論文     | 有     | 2005年 「特集にあたって『民主化』とアフリカ諸国」『アジア経済』第46巻11・12合併号、アジア経済研究所、pp.2-9  |
| 2.論文     | 有     | 2005年 「離党規制とケニアの複数政党制—変質する権威主義体制下の弾圧装置—」『アジア経済』第46巻11・12合併号、アジア経済研究所、pp.39-70。  |
| 4.小論     |       | 2005年 「<女性>カテゴリー導入の功罪—「HIV/エイズと女性」フォーラムに寄せて(2005年度アフリカ学会学術大会「女性フォーラム」報告 コメント②)」『アフリカ研究』第67号、2005年12月号、日本アフリカ学会、pp.119-120   |
| 5.書評     |       | 2005年 「寺嶋秀明編 平等と不平等をめぐる人類学的研究」『アフリカレポート』第40号、2005年3月号、p.63  |
| 5.書評     |       | 2005年 「竹沢泰子編 人種概念の普遍性を問う」『アフリカレポート』第41号、2005年9月号、p.58   |
| 6.事典項目執筆 |       | 2005年 「ケニア」「タンザニア」「ニエレレ、ジュリウス」猪口孝、田中昭彦、恒川恵市、薬師寺泰蔵、山内昌之編『国際政治事典』弘文堂、pp.291-292, 604-605, 731   |
| 7.教科書類   |       | 2005年 「東アフリカ～「民主化」は何をもたらしたのか」『2005年度NHK高校講座:地理』日本放送出版協会、p.50  |
| 8.エッセイ   |       | 2005年 「ひと目惚れに始まったわたしとケニアの関係」『2005年度NHK高校講座:地理』日本放送出版協会、p.51   |
| 2.論文     |       | 2004年 「ケニア的複数政党制—その軌跡と機能変化する法制度」津田みわ編『アフリカ諸国の「民主化」再考—共同研究会中間報告』アジア経済研究所、pp.127-165。   |
| 4.小論     | 有     | 2004年 「裏切られた期待—政権交代1年目のケニア」『アフリカレポート』第38号、2004年3月号、pp.22-26   |
| 5.書評     |       | 2004年 「呪医の末裔—東アフリカオデニョ一族の二十世紀 松田素二著 東京 講談社 2003年 286p.」『アフリカレポート』第39号、2004年9月号、p.68   |
| 5.書評     |       | 2004年 「小馬徹編 くらしの文化人類学 5 カネと人生、東京、雄山閣、2002年、285p」『アフリカレポート』第38号、2004年3月号、p.42  |

8.エッセイ		2004年	「モイ政権の方がまし！？—政権交代後に揺れるケニア」『クロスロード』第40巻462号、2004年6月号、p.38
2論文		2003年	「ケニア:2002年総選挙による『新』政権の樹立」(日本国際問題研究所『(アフリカにおける議会と行政府)』日本国際問題研究所、pp.89-110
2論文	有	2003年	「リコニ事件再考—ケニア・コースト州における先住性の政治化と複数政党制選挙」武内進一編『国家・暴力・政治—アジア・アフリカの紛争をめぐって』アジア経済研究所、pp.219-261
4小論	有	2003年	「2002年ケニア総選挙—モイの引退と新政権の誕生—」『アフリカレポート』第36号、2003年3月号、pp.21-26
4小論		2003年	「ケニア／つくられる「よそ者」—コースト州リコニ事件から」『アジア研ワールド・トレンド』第94号、pp.21-23
5書評		2003年	「井野瀬久美恵著 黒人王、白人王に謁見す—ある絵画の中の大英帝国、東京、山川出版社、2002年、198p」『アフリカレポート』第37号、2003年9月号、p.53
5書評		2003年	「加納弘勝・小倉充夫編 変貌する「第三世界」と国際社会(国際社会7)東京、東京大学出版会、2002年、251p」『アフリカレポート』第36号、2003年3月号、p.45
7.教科書類		2003年	「東アフリカ:<民主化>は何をもたらしたのか」『NHK教育セミナー:世界くらしの旅』日本放送出版協会、p.57
8.エッセイ		2003年	「<私の研究資料>アフリカ」『アジア研ワールド・トレンド』第90号、p.16
10.コメント記録		2003年	「海外ニュースの読み方 REGIONAL TOPICS 第9回:ついに野党の結束で勝利を収めたケニアの選挙。一月に新大統領が就任し、独立以来40年近く不変だった政治の構図が変わった選挙に人々は感動している。」『国際協力』第575号、2003年3月号、p.40
3.研究資料		2002年	「ケニア政治史資料(1998~2000年)」武内進一編『アジア・アフリカの武力紛争—共同研究会中間成果報告』アジア経済研究所、pp.235-308
5.書評		2002年	「佐藤俊編、遊牧民の世界(講座生態人類学4)京都大学学術出版会、2002年、vii+330p」『アフリカレポート』第35号、p.55
5.書評		2002年	「澤田昌人編 アフリカ狩猟採集社会の世界観 京都 京都精華大学創造研究所 2001年198p」『アフリカレポート』第35号、2002年9月号、p.54
7.教科書類		2002年	「アフリカ東部諸国」『NHK教育セミナー:世界くらしの旅』日本放送出版協会、p.57
2論文	有	2001年	「ケニアの複数政党制化と農村社会」高根務編『アフリカの政治経済変動と農村社会』アジア経済研究所、pp.97-137
4小論		2001年	「(第2部 冷戦終結後のアフリカの国内対立・紛争の展開と紛争解決への試み)(事例研究)ケニア」総合研究開発機構(NIRA)、横田洋三共編『アフリカの国内紛争と予防外交』国際書院、pp.259-265
4小論	有	2001年	「2002年大統領選挙に向かうケニア—連立政権の発足と日本の援助」『アフリカレポート』第33号、2001年9月号、pp.50-54
4小論		2001年	「ケニア／政治改革の若手旗手—ポール・ムイテ」『アジア研ワールド・トレンド』第66号、pp.20-21
4小論	有	2001年	「ケニア憲法改革問題の現在:「サファリ・パーク合意」とガイ調停」『アフリカレポート』第32号、pp.17-21

5.書評		2001年	「ティス・ゴールドシュミット著(丸武志訳)ダーウィンの箱船ヴィクトリア湖、東京、草思社、1999年、358p」『アフリカレポート』第32号、p.50
7.教科書類		2001年	「アフリカ東部諸国:経済と民主化の課題」『NHK教育セミナー:世界くらしの旅』日本放送出版協会、p.58
2.論文	有	2000年	「複数政党制移行後のケニアにおける住民襲撃事件—92年選挙を画期とする変化」武内進一編『現代アフリカの紛争—歴史と主体』アジア経済研究所、pp101-182
4.小論		2000年	「ケニアにおける政治変動と農村—セントラル州キアンブ県の事例から」高根務編「現代アフリカにおける国家、農村、市場」アジア経済研究所、pp.169-190
5.書評		2000年	「岡安直比著 子育てはゴリラの森で 東京 小学館 1999年 277p.」『アフリカレポート』第30号、2000年3月号、p.42
7.教科書類		2000年	「アフリカ東部諸国」『NHK教育セミナー:世界くらしの旅』日本放送出版協会、p.67
8.エッセイ		2000年	「<連載:読中閑あり 第4回>作文修行」『アジ研ワールド・トレンド』第58号、2000年7月号、p.24
11.対談記録		2000年	「日本貿易振興会アジア経済研究所:地域研究第2部アフリカチーム(日本のアフリカ研究 探検第5回)」『月刊アフリカ』第40号、2000年4月号、pp.9-10
4.小論		1999年	「<特集「ことば」とくらし—ことばに込めるもの—歴史とアイデンティティ>キクユ語とナイロビ住人」『アジ研ワールド・トレンド』第42号、1999年1-2月合併号、pp.38-40
4.小論		1999年	「ケニア—複数政党制復帰と『エスニック・クラッシュ』—」『アジ研ワールド・トレンド』第43号、1999年3月号、pp.10-13
5.書評		1999年	「コーラ・アン・プレスリー著(富永智津子訳) アフリカの女性史:ケニア独立闘争とキクユ社会 東京 未来社 1999年 290p.」『アフリカレポート』第29号、1999年9月号、p.44
5.書評		1999年	「嶋田義仁著 優雅なアフリカ:一夫多妻と超多部族のイスラーム王国を生きる 東京 明石書店 1998年 256p.」『アフリカレポート』第28号、1999年9月号、p.48
13.その他執筆		1999年	「初めての海外赴任:ケニア」『じえとろ』(1999年10月)
3.研究資料		1998年	「ケニア政治史年表」武内進一編『現代アフリカの紛争を理解するために』アジア経済研究所、pp.197-259
4.小論	有	1998年	「後継問題に揺れるケニア」『アフリカレポート』第26号、1998年3月号、pp.26-29
5.書評		1998年	「山田一廣著 マスカルの花嫁—幻のエチオピア王子妃 東京 朝日新聞社 1998年 246p.」『アフリカレポート』第27号、1998年9月号、p.51
5.書評		1998年	「和田正平編著『アフリカ女性の民族誌—伝統と近代化のはざままで』」『アジ研ワールド・トレンド』第32号、1998年2-3月合併号、p.71
8.エッセイ		1998年	「<連載:様々な年輪—世界のお年寄り 第10回>カニャンガ・クレイトするムゼーたち—ケニア—」『アジ研ワールド・トレンド』第31号、1998年1月号、p.24
8.エッセイ		1998年	「Nairobi ファビアンユウツ:パンプスとコレクトコール(特集 都会はつらいよ)」『国際協力』通巻514号、1998年2月号、pp.10-11
4.小論		1997年	「ケニア② それぞれの風景」鳥居高編『発展途上国の市場と暮らし』明石書店、pp.222-230(初

出「発展途上国の買い物事情(ケニア):それぞれの風景」『アジア研ワールド・トレンド』第 16 号、1996 年 9-10 月号、pp.81-84)

- 4/小論 有 1997 年 「ナイロビ:水をめぐる清潔観」『アフリカレポート』第 24 号、1997 年 3 月号、pp.33-36
- 8/エッセイ 1997 年 「<フォト・エッセイ ケニア>キクユ語とナイロビ住人」『アジア研ワールド・トレンド』第 22 号、1997 年 4 月、pp.29-32
- 8/エッセイ 1997 年 「ケニア/ナイロビ:わたしたちには伝家の宝刀があった(My Favourite Town)」『国際協力』通巻 506 号、1997 年 6 月号、p.29
- 8/エッセイ 1997 年 「スラムのわが家:ケニア」君島東彦編『留学の達人』増進会出版社、pp.59-70
- 11/対談記録 1997 年 「ケニアの共働き家族:水汲み、薪集め、畑仕事...休みなく働く女性たち/教育の向上と各種制度の近代化を期待したいですね。」『DEWKS net(デュークスネット)』第 43 号、1997 年 7 月号、pp.12-14
- 2/論文 1996 年 *Ethnicity and the 1992 Multi-Party Elections: the Case of Kikuyu Constituency, Kiambu District*, IDS Miscellaneous Paper 122 , Institute for Development Studies, University of Nairobi
- 4/小論 有 1996 年 「キルワ発言—つくられた部族『カレンジン』に巣くう内紛」『アフリカレポート』第 23 号、1996 年 9 月号、pp.14-17
- 4/小論 1996 年 「メイドのいる生活—二極分化の進むケニア女性」アジア経済研究所編『第三世界の働く女性』明石書店、pp.163-170(初出「ケニア:メイドのいる生活—二極分化の進むケニア女性(特集 発展途上国の働く女性)」『アジア研ワールド・トレンド』第 6 号、1995 年 9-10 月号、pp.74-77)
- 4/小論 有 1995 年 「ケニア身分証明制度の現在:偽造『キパンデ』時代の到来」『アフリカレポート』第 21 号、1995 年 9 月号、pp.9-13
- 4/小論 1995 年 「ナイロビ市民の足・マタトゥ:”マニャンガ”と”パラスタータル”」『アジア研ニュース』第 163 号、1995 年 3 月号、pp.22-25
- 6/事典項目執筆 1995 年 「ケニア・アフリカ人民族同盟」「ケニヤッタ」梅棹忠夫監修、松原正毅編集代表、NIRA(総合研究開発機構)編集『世界民族問題事典』東京:平凡社、pp.388-389
- 5/書評 1994 年 「アンヌ・ユゴン著 アフリカ大陸探検史 堀信行監修 高野優訳 大阪 創元社 1993 年 188p.」『アフリカレポート』第 18 号、1994 年 3 月号、p.48
- 5/書評 1994 年 「オスマン・サンコン著 サンコン少年のあふりか物語 東京 講談社 1993 年 117p.」『アフリカレポート』第 19 号、1994 年 9 月号、p.46
- 13/その他執筆 1994 年 「「大岩川さん効果」のこと」アジア経済研究所有志編『私家版 アジ研ニュース 大岩川嫩さん退職記念号』、私家本
- 2/論文 有 1993 年 「ケニアの民主化と複数政党制—1960—69 年を中心に」原口武彦編『転換期アフリカの政治経済』アジア経済研究所、pp.107-130
- 2/論文 1993 年 「転換期におけるケニア政治—1960 年の KADU 結成を事例に」小田英郎編『アフリカその政治と文化』慶應通信社、pp.261-292
- 4/小論 有 1993 年 「1992 年ケニア総選挙—複数政党制回復と KANU」『アフリカレポート』第 17 号、1993 年 9 月号、pp.7-10
- 4/小論 1993 年 「1992 年地球サミットと途上国 III 途上国の新聞論調から ケニア:よそよそしく対岸の火事視」藤崎成昭編『開発と環境シリーズ 2 地球環境問題と発展途上国』アジア経済研究所。(初出『アジ

研ニュース』第 136 号、1992 年 9 月号、p.48)

- 5.書評 1993 年 「P.ビアード著 西江雅之監修 伊藤俊治・小野巧生訳 ジ・エンド・オブ・ザ・ゲーム 東京 リポ  
ロポート 1993 年 296p.」『アフリカレポート』第 17 号、1993 年 9 月号、p.52
- 5.書評 1993 年 「野町和嘉著 地球へ！ RIFT VALLEY ODYSSEY 東京 講談社 1992 年」『アフリカレポ  
ート』第 16 号、1993 年 3 月号、p.49
- 13.その  
他執筆 1993 年 「原口さんぬきの送別会」真島一郎、酒井啓子、津田みわ、佐藤章共編『一筆啓上 原口武彦  
様』、私家本
- 4.小論 1992 年 “Comments (on Prof. P.O. Alila, “Local Level Institutions of Participation in a  
Changing Political and Economic Environment: The Kenyan Experience””, *African  
Political Economy in Transition (Africa Research Series No.5)*, Institute of Developing  
Economies, pp.80-81
- 4.小論 有 1992 年 「ケニア政治調査行:1992 年 1 月」『アフリカレポート』第 14 号、1992 年 3 月号、pp.16-20.
- 5.書評 1992 年 「中林伸浩著 国家を生きる社会——西ケニア・イスハの氏族 神奈川 世織書房 1991 年  
275p.」『アフリカレポート』第 15 号、1992 年 9 月号、p.51
- 8.エッセ  
イ 1992 年 「ケニアとの出会い(特集:途上国研究への道・・・私の場合 21)」『アジア研ニュース』第 132 号、  
1992 年 4・5 月合併号、pp.34-35
- 12.翻訳  
協力 1992 年 地名翻訳、梅棹忠夫・前島郁雄監修『世界全地図・ライブアトラス』東京：講談社
- 3.研究資  
料 有 1991 年 「ケニアの閣僚構成:1974—90 年」『アジア経済』第 32 巻第 8 号、pp.88-108
- 5.書評 1991 年 「書評:D.T.モイ著、創価大学アフリカ研究センター訳『アフリカの夜明け——ケニア建設とニャヨ  
哲学』第三文明社、1991 年、309 ページ」『アフリカ研究』第 39 号、1991 年 12 月号、pp.82-84
- 5.書評 1991 年 「板垣真理子著 おいでよアフリカ 東京 晶文社 1990 年 314p.」『アフリカレポート』第 12 号、  
1991 年 3 月号、p.52
- 5.書評 1990 年 「椎名誠著 あやしい探検隊アフリカ乱入 東京 山と溪谷社 1990 年 210p.」『アフリカレポ  
ート』第 13 号、1991 年 9 月号、p.48
- 5.書評 1990 年 「白石顕二・山本富美子編:ティンガティンガ——アフリカン・ポップアートの世界 講談社 1990  
年」『アフリカレポート』第 11 号、1990 年 9 月号、p.51
- 2.論文 有 1989 年 修士論文「植民地ケニアの独立運動——大衆動員をめぐるリーダーシップ」(慶應義塾大学大学  
院法学研究科政治学専攻)

## 写真

- 2003 年 表紙および裏表紙写真とキャプション、山形辰史編『やさしい開発経済学 (アジアを見る眼 96)』  
第 4 刷、日本貿易振興会アジア経済研究所。
- 1998 年 表紙写真とキャプション、山形辰史編『やさしい開発経済学 (アジアを見る眼 96)』初版～第 3 刷、  
アジア経済研究所
- 1998 年 裏表紙及び本文中写真とキャプション、アジア経済研究所『アジア経済研究所の活動 1997/98』  
アジア経済研究所

以上